

私たちが“ながら見守り”やっています



社会福祉法人山紫会
特別養護老人ホーム 菊香園

熊坂 祐治さん



大共電通ネットワークス
合志支店

今村 香織さん



桜路区長

川畠 愛子さん

職員が送迎中に路上で転倒していた人を発見し助けるなど、日頃から見守りを心掛けている。この活動への登録は、職員全体の意識をさらに高めるきっかけになりました。地域の人から相談を受けることが多く、今後も関係機関と連携したいと思っています。

日頃から業務で市内を巡回する機会が多く、企業として地域の見守りを意識した活動に取り組んでいます。特別な負担なく実践できる“ながら見守り”をこれからも続け、小さな変化に気づいたときは適切な対応を行なうことで、地域貢献を果たしていきたいです。

この活動を知って「区でも取り組みたい」と考え、まずは班長会議で説明し登録しました。キー ホルダーがあることで、通勤時などの見守りの意識が高まりました。今後は区内の全員が見守りの意識を高め、活動が市内全域に広がるとなればと思います。

協力団体を募集しています

見守り活動に賛同、協力してもらえる市内の事業所や団体を募集しています。地域包括支援センターか、市社会福祉協議会までご連絡ください。また、『市地域見守り応援隊』への登録に必要な書類など、詳しくは市ホームページをご覧ください。

地域包括支援センター(市高齢者支援課) ☎ 096-248-1126
市社会福祉協議会 地域福祉課 ☎ 096-242-7007



『市地域見守り応援隊』は、日常の業務や生活の中で見守り活動を行ないます。自宅を訪問したり、電話やメールをしたりすることはできません。不審に思ったときは、地域包括支援センターへお知らせください。



▲市ホームページ

本市では、認知症などにより道に迷いややすい高齢者のための見守りサービス『どこシル伝言板』を導入しています。行方不明になる可能性がある高齢者を家族などが事前登録し、衣服などに『見守りシール』を貼ります。シールの二次元コードを発見した人がスマートフォンで読み取ると、個人情報は開示されずに家族に通知が届きます。また、専用の伝言板で連絡を取り合い、安全に保護・引き渡しを支援する仕組みです。『見守りシール』を身に着け、困った様子の高齢者を見かけたときは、やさしく声をかけ、二次元コードを読み取るなど、ご協力を願いします。

このシールにも
気づいてください

QR code
AA0000
高齢者のための
見守りサービス
『どこシル伝言板』

●問い合わせ先 高齢者支援課 包括支援センター班 ☎ 096-248-1126



皆さんの“気づき”が地域の安全・安心に

『市地域見守り応援隊』は、市内の事業所や自治会などの団体に登録してもらい、通勤通学中や業務中、日常生活をしながら地域を見守る活動です。高齢者や支援が必要な人などを見かけ、「心配だな」と感じたり「いつもと違う」と気づいたりしたら、市役所や市社会福祉協議会、警察などに連絡し必要な支援に繋げます。この活動が広がり見守りが強化されることは、地域の防犯に繋がるメリットもあります。



▲市ホームページ

シンボルマークを身に着けて“ながら見守り”

登録した事業所や団体にはシンボルマークが入ったキー ホルダー や車両に貼るステッカーを配布します。それを身に着けたり掲示したりします。

ウォーキングしながら、ペットと散歩をしながら、通勤・通学しながら、仕事で外回りをしながら、自治会活動をしながら…など、日常の活動の中で周囲を見てもらいます。

どんな人が見守りの対象か

本市に住む全ての人が見守りの対象ですが、特にこのような人たちの“いつもと違う様子”に気づくことが大切です。



- 高齢者(一人暮らし、認知症など)
- こども(困っている、危険な状況など)
- その他、支援を必要としている人

気づきのポイント

- いつもと表情が違う
- ポストに郵便物がたまっている
- こどもの泣き叫ぶ声がする
- 困っている様子の高齢者がいる など

気づいたときは
市や市社会福祉協議会
警察などに連絡



「助けてほしい」と声を出せない人もいます。あなたの“気づき”が大きな支えになります。